

とっとり県老連だより

第24号

■会員数 50,220人
 ■クラブ数 954クラブ
 平成20年4月現在

◎この機関紙は、シルバー基金の果実を利用して、県下老人クラブ組織を通じ全会員に配布しています。

「自然食料理教室」

米子市老連
(若手委員会)



「三しゃんしゃん傘づくり」

鳥取市老連
女性部



活動の充実を



鳥取県老人クラブ連合会
会長 高澄子

会員の皆様には、新しい年をいかがお迎えでしたか。昨年は、老人クラブ活動についてご支援ご協力をいただきまして、誠に有難うございました。さて、本会は平成十九・二十年度に『男女共同参画による高齢者の地域活動事例研究』に取り組み、『クラブ活動マップ』を作成しました。この事業において見えたものは、

- ・ 地域を生かした活動の創造
 - ・ 活動による満足感・充実感
 - ・ 地域社会への参画と貢献
- ・ 深まった人間関係と世代間交流等々でした。来年度に向かっては、若手会員の組織加入をはかり、研究した活動事例をヒントに、若い情熱と先輩の知恵を駆使すれば、また新しい楽しい活動が展開するのではないかと、今から楽しみにしています。

平成21年度 県老連目標

全国老人クラブ連合会との連携・協調のもとに取り組む。

- 1 魅力あるクラブづくりと加入促進
 - (1)「全国三大運動」、「老人の日・老人福祉週間」(9月15日～21日)の運動推進
 - (2)全国共通目標「老人クラブ21世紀プラン」の推進
 - (3)加入促進と若手会員の組織化
- 2 単位クラブ活動の活性化と市町村老連の充実・強化
 - (1)老人クラブ地区別研修会(指導者)の開催
 - (2)市町村老連リーダーセミナーの開催
 - (3)女性リーダー研修会の開催
 - (4)個別指導(健康づくり推進員)の推進
- 3 相互に支えあう健康づくり・友愛活動の推進の実施
 - (1)健康づくり支援事業(いきいきクラブ体操等)
 - (2)「在宅福祉を支える友愛活動」の推進

県老連役員選任

任期満了に伴う県老連役員選任が行われました。選任された役員は次のとおりです。(任期二年・平成二十二年五月二十八日迄)

会 長	高 澄子
副会長	沖田 博敬
常務理事	豊嶋 潤
理 事	武良 敬喜
理 事	竹本 英行
理 事	今岡 祐一
理 事	湯川 宏通
理 事	香川 和久
理 事	相見 寿子
理 事	門脇 陽子
監事(但し、欠員一名)	
監事(二名)	鍵井 廣幸
監事	坂本 昌弘

60代の仲間を増やそう!

加入促進と組織づくり

活動の活性化を

わが国は男女とも世界一の長寿国となりました。老人クラブは、六十歳から百歳を越える幅広い年齢層を会員として構成されています。

老人クラブは、現在、全国に十二万四千クラブ・七八〇万会員を擁し、高齢者最大の組織として、老人の健康や生きがいづくりの活動など、地域性を生かした様々な活動を展開し、社会的にも高い評価を得ているところです。

超高齢社会を迎える中で、老人クラブの加入率は、本県で二十七%、会員数約五万三百人と減少傾向にあります。会員の年齢構成をみますと七十歳以上の会員が六十一%と年々会員の高齢化が進み、活動の停滞やマンネリ化は、老人クラブ解散の原因ともなっております。

このような現状の中で、平成十八・十九年度の二ヶ年に亘り「加入促進キャンペーン」を実施した結果、六十歳代の会員を中心に延べ三百八十人増の会員拡大が得られました。退会等により県全体

としては減少しております。引き続き、加入促進に努め、仲間をつくり、「健康・友愛・奉仕」の活動を進めていきます。

若手委員会組織づくり

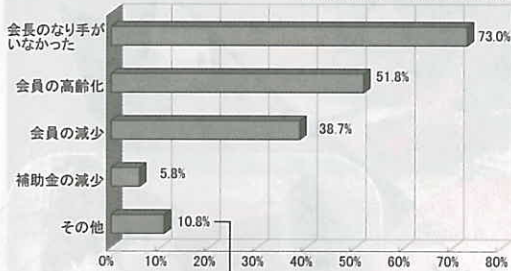
検討会・・・立上げへ

県老連では、老人クラブ活動の活性化を図るため、団塊の世代(六十歳代)の加入促進を図り、多様な価値観を持った新しい高齢者層にとつても魅力ある組織づくり、若手会員の加入が少ないのは何故か等について検討するため、「検討会」を年度内に立ち上げることとしております。

全老連調査で「老人クラブが解散する原因」は、会員の高齢化、会員の減少が上げられております。

【老人クラブが解散することになった原因】

全老連調査・平成19年6月



- 「会長の負担が大きすぎる」
- 「会長と会員の意識・意見の食い違いが多かった」
- 「新規会員を獲得できない」
- 「魅力ある活動ができない」
- 「(会長以外の) 役員のなりの手がいなかった」
- 「(補助金申請などの) 事務作業が大変である」
- 「クラブ内の人間関係が悪化した」

平成20年度 県老連の主要事業報告

市町村老連事務局担当者会議

- ・老人クラブをめぐる県老連の動向について

- ・平成20年度事業計画・予算・行事予定について

- ・理事会(4回)・総会(2回)

- ・平成19年度事業・決算

- ・平成20年度事業計画・予算

- ・任期満了に伴う理事及び監事、各種委員の選任

- ・中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会

- ・米子市・皆生グランドホテル天水(参加者県外219名・県内115名)

- ・基調報告(全老連)

- ・分科会

- ① 「みんなで健康な心から、だをつくろう」

- ② 「会員加入促進への取り組み」

- ③ 「市区町村老連の組織強化」

- ④ 「地域で支え合う活動」

- ・事例発表

- ・(県老連の健康づくり支援事業の取り組み)

- ・全体会

- 健康づくり支援事業

- ・実行委員会(2回)

- ・指導者養成講習会(1回)

- ・報告会(1回)

- モデル地区体力測定会(年

2回)

- ・鳥取市青谷町支部・倉吉市・北栄町・大山町

- ・市町村リーダーセミナー(参加者41名)フランチールみぞひ

- ・講義「若手委員会の組織充実・活動活性化への期待」

- ・松江市老連副会長 木村 更生

- ・グループ討議

- ・テーマ「若手委員会の組織化・活動について」

- ・後期高齢者医療制度の理解

- ・グループ発表・全体会

- ・地区別研修会(参加者 東部447名 中部240名・西部232名)

- ・講義・講演「熟年期の体力の意義と活用」鳥取大学医学部

- ・社会医学講座病態運動学分野 准教授 加藤 敏明氏

- ・地域事例活動発表

- ・東部(鳥取市・用瀬町・気高町)

- ・中部(倉吉市・北栄町・北栄町)

- ・西部(米子市・日南町・日野町)

- ・女性リーダー研修会(参加者116名)

- ・講演「私が主役!」

- ・鳥取県議会議員 浜田 妙子氏

- ・グループ討議

- ・レクリエーション

- 男女共同参画による高齢者の地域活動事例研究事業

- ・実行委員会(3回)

- ・活動現地訪問取材(東・中・西)

- ・活動マップ作成(100部)

健康づくり支援事業と健康づくり推進員の活用

目的

鳥取県老人クラブ連合会では、平成17年度から県補助金を受けて、レクリエーションダンスに取り組んできました。

今年度は、今まで行ってきたレクリエーションダンスを中心に、簡単なレクリエーション等の実践を推進するため、各市町村老連のリーダー（健康活動推進員）を増員し、リーダー育成を図り広く地域に浸透させ、市町村における健康づくり活動を推進します。

期待される効果

①会員一人ひとりが、体力、趣味価値観を持って取り組むことが健康寿命のレベルアップにつながります。

②会員の加入促進と社会参加活動の活性化が期待できます。

健康づくり推進員とは

県老連では、老人クラブ会員・非会員に関わらず、教師等の専門職経験者で、全老連主催の「健康づくり中央セミナー」を終了した

者を県老連会長が、指導者（健康づくり推進員）として委嘱しています。

是非各市町村は、積極的に健康づくり推進員を活用して、健康づくりに取り組んでいただきたいと思えます。

（健康づくり推進員の皆さん）

- 信岡 寿子（鳥取市）
- 本田 義孝（鳥取市）
- 水野 聖子（三朝町）
- 岩崎 睦枝（琴浦町）
- 安田 智（米子市）
- 青山 典代（米子市）

〔利用方法〕

指定の「派遣申請書」に記入して、県老連へFAXで申込みいただければ、健康づくり推進員を派遣します。

経費は県老連が負担します。

その他の詳細は、ご相談に応じますので県老連へご連絡ください。

健康活動推進員とは

各市町村老連・支部より2名（男女各1名）の健康活動推進員を推薦し、活動に協力していただ

いています。（68名）
（主な活動）

- ①地域において、健康づくり活動を推進します。
- ②体力づくり（いきいきクラブ体操・レクリエーションダンス・体力測定等）を幅広く普及します。

今後の取り組み

平成21年度は、健康活動推進員の養成講習会を3回のカリキュラムを組み、専門講師の指導のもと、リーダー育成を図り、幅広く地域への浸透を進める予定です。

講習会修了者には修了証書を交付し、リーダーとしての意識づけを図り、広く会員の健康づくりを推進していきたいと考えています。

いつまでも健康で自立した生活を送るためには、適度からだを動かす、体力を保持することが必要です。運動の習慣を身につけ、いつまでもいきいきとした暮らしを目指しましょう！

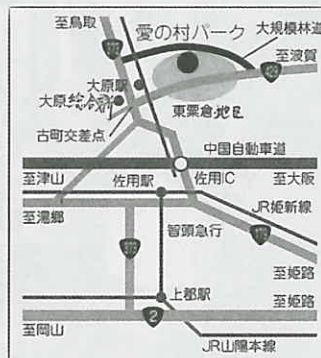


入浴・宴会承ります



天然温泉
ゆらりあ

送迎バスもあります。
こぶしの里後山で宿泊もできます



- 交通アクセス
- JR磐城急行「大原駅」下車（車又は神姫バスで約10分）
- 中国自動車道「佐用IC」下車、大原へ、大原からはR429で栗粟倉村へ



岡山県美作市後山1872
0868-78-0202
定休日：水曜日

市町村活動紹介

先進地視察研修

岩美町老連

会長 鍵井 廣幸

岩美町老連では、この先進地視察研修事業を重点事業の一つとして位置づけて毎年必ず実施しております。

訪問先については、県老連にお願いして、素晴らしい活動を続けられている市町村老連を始め、病院、診療所あるいは福祉施設等々の中から視察先を選び、双方の事務局で協議して内容を決定しております。

一、役員研修（参加者…各クラブ会長及び町老連女性部長、事務局）

原則的に県外一泊として実施しておりますが、まず双方の予算、決算、活動実施状況の説明、問題点等の質疑、特に会員加入促進、財政面に対する悩み等の協議が行われます。時間は二時間三十分〜三時間程度で終わりますが、会員の三分の二以上は女性という団体であり、女性部長同士の話し合いが活発に行われます。

主な訪問先は、老連関係では、

徳島県池田町、岡山県高梁市、同県新庄村、滋賀県守山市等々ですが、相互訪問として、池田町、高梁市等、岩美に来町された際、希望があれば山陰海岸国立公園の中心地である、浦富海岸を観光船に乗船して見学する等、ご案内しており、皆さんから、さすが世界遺産にノミネートされただけのことはあると絶賛されました。



「境港市老連との交流」

二、ふれあいセンター「もやい」視察（宇和島市津島町）

愛媛県に素晴らしい「サロン活

動」をしている町があるとの情報により、役員研修として右記を視察しました。

岩美町では、数団体のサロン活動がヨチヨチ歩きの状態でしたが、「もやい」では、全国に先駆けてサロン活動が活発でした。バス一台で愛媛県の西端、津島町にお邪魔した時には会長さんを始め、役員、会員の方々から大変な出迎えを受けました。

結成から運営と、細やかなご指導を戴きました。岩美町社協からも職員二名の派遣を戴き、今では町内に二十七のサロンを数え、社協の財政支援もあつて活発に活動し、関係者からも喜ばれております。

三、女性部視察研修（町老連会長、女性部長、会員、事務局計三十五名）

右記の構成で先進地を訪問して研修に努めますが、最初は遠慮がちな皆さんも昼食の前後には、物作りやボランティア活動、または苦労話等、和やかな交流となります。

四、研修の成果と提言

研修で学んだ事案に対しては、連合会は勿論、各単位クラブの運営にも反映するよう努めております。また、行政や福祉施設に対しては提言を行います。

視察研修による成果は当然ですが、女性部の研修等（主な研修場所としては境港市老連）では昼食を挟んでの話し合いや物作りの指導も受け、友情が芽生え、交流が始まり、女性部長等は、得意の作品を送りあったり、地元の珍味も入っていたりと微笑ましい交流もあつて、研修効果は素晴らしいと思います。



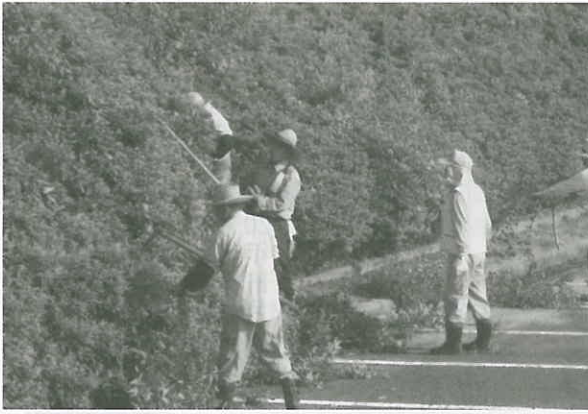
「宇和島市とのサロン交流」

琴浦町総合公園奉仕作業について

琴浦町老連

勤クラブ会長 生原 照巳

合併以前の東伯町時代より二十数年来、この体育施設のある総合公園の清掃奉仕作業を行っています。現在、琴浦町老人クラブ連合会



「汗びっしょりになったの剪定作業」

東伯支部には三十五の単位クラブがあり、この各クラブより二名の作業員に参加してもらい、総勢七十余名で毎年この清掃作業をしています。

農家の方は草刈機を持ち寄り、長い草は刈り払い、草取りや、花木の刈り込み剪定などを行っています。

昨年は七月十日朝七時に集合して作業を行いました。毎年この作業は七月に行っていますが、この公園内の体育施設が一番多く利用されるのが七月、八月ですので来園される町民の方々に綺麗な公園を見てもらおうとしての事業です。

当日は田中町長さんも作業開始前から来ておられ、この奉仕作業のお礼と感謝の言葉で挨拶を頂き



「花壇がきれいになりました」

作業開始しました。老人クラブ連合会長さんも参加されて、広い公園内が綺麗になり、花壇も見違えるほどになりました。

暑い時ですので、早朝からの作業でしたが、皆さんが汗びっしょりになっての作業でした。終わって、総合体育館よりお礼の言葉で戴き、皆で冷たい飲み物を飲み、爽快な気分となり十時に解散しました。

若手の取組みについて

米子市老連

若手委員長 今岡 祐一

米子市老人クラブ連合会は平成二十年度の事業計画に「環境部」と「若手委員会」の新設を決定し、



「生ごみも出さない、エコ料理」

その啓発活動と組織化準備に着手いたしました。

「若手委員会」は、新進気鋭の若手リーダーの活躍により、地域の活性化を目指し、各種のサークル活動や、潤いのある人格向上・生命尊重運動を進めています。

まず、単位クラブの会長宛に、若手委員候補者一名以上の選任方をお願ひしました。

選任対象は七十四歳未満（前期高齢者）が原則ですが、気力体力充実し、奉仕活動の意欲に燃える人材であるならば、当面創設期は年齢は問わぬことにしました。

九月四日、五日県老連主催市町村リーダーセミナーの指導講師木村更生松江市老連副会長を、米

子にもお迎えし、九月二十七日に研修会を開き、松江市老連の若手委員会の活動状況を、具体的に学びました。

第一次若手委員に選任された方々は、男子二十名、女子十三名の三十三名でした。年齢別では、

六十歳〜六十九歳	十四名
七十歳〜七十四歳	九名
七十五歳以上	十名

の構成でした。

十二月五日、第一回若手委員会を招集し、初顔合わせと、今後の活動方針が図られました。

若手委員は所属単位クラブの活性化、会員拡大、地域の発展活動に積極的に貢献し、各サークルを自主的に運営していくことを決定しました。

既に「史跡探訪」は第一回企画を「妻木晩田遺跡内植物生態と食用薬草探し」旅行を実施し、大型バス一台で募集定員を上回る応募があり、成果をあげました。

「自然食料理教室」は偶数月に啓成公民館調理室で開催し、毎回好評を得ております。

続いて、「歴史研究」「旅行」「伝統行事保存」「俳句同好会」「フライングディスクゴルフ」「カラオケ同好会」などが、自主運営の準備を進めております。

今後の活動をご支援下さい。

報 告

鳥取県老人クラブ連合会
理事 (大山町老連会長)
下池 忠正 様
(七十九歳)

平成二十年八月十二日に
ご逝去されました。
生前のご功績を称えらる
と共に、謹んでご冥福をお
祈りいたします。



●会員章には、ピン止式と
タック式の二種類があり
ます。
◎頒価 一個700円

会員章は
老人クラブの
シンボル

【育成功労表彰】

岩美町老連会長
鍵井 廣幸 (岩美町)

全国老人クラブ大会 (長崎県)

平成20年11月18・19日

平成二十年
全老連会長表彰
受賞者

振り込め詐欺情報!!

鳥取県警察本部
警察総合相談電話
☎ 9110



定額給付金を装った電話に…だまされないでー!!

市町村や総務省などの公的機関が、給付のため、手数料などと称してATM (現金自動預払機) の操作をお願いすることは絶対ありません!!

「おかしいぞ?」と思ったらまず相談

老人クラブ傷害保険

会員であれば、誰でも、いつでも、クラブを通じてお一人でも
そして何歳でもご加入できます。

年間掛金 500円から
はじめられる安心
(一日あたりの掛金わずか14円です!)

■老人クラブ活動保険 (特別専用保険) クラブ活動中のケガを補償します。

年間掛金	補償内容	活動中のケガ		
		通院日額	入院日額	死亡・後遺障害
Aタイプ (1日あたり1.4円) 年間掛金500円		650円	1,000円	50万円
Bタイプ (1日あたり2.7円) 年間掛金1,000円		1,300円	2,000円	100万円
Cタイプ (1日あたり5.5円) 年間掛金2,000円		2,600円	4,000円	200万円

■老人クラブ24時間保険 (普通傷害保険) クラブ活動中以外も日常生活全般のケガを補償します。

年間掛金	補償内容	活動中のケガ			活動中以外のケガ		
		通院日額	入院日額	死亡・後遺障害	通院日額	入院日額	死亡・後遺障害
Dタイプ (1日あたり8.3円) 年間掛金3,000円 (活動保険+24時間保険)		1,800円	2,850円	103万円	500円	850円	3万円
Eタイプ (1日あたり16.5円) 年間掛金6,000円 (活動保険+24時間保険)		3,600円	5,700円	206万円	1,000円	1,700円	6万円
Fタイプ (1日あたり27.4円) 年間掛金10,000円 (活動保険+24時間保険)		4,600円	7,400円	212万円	2,000円	3,400円	12万円

ご注意ください。この広告は老人クラブ傷害保険の内容について紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明」をよくお読みください。
ご不明な点等がある場合には、全老連 保険係までお問い合わせください。

3つの魅力

すぐご加入を!!お待ちしております。

老人クラブの会員の方々なら

- 1 加入手続きは
……いたって簡単です。
- 2 年間掛金500円から
……手軽な掛金です。
- 3 ケガをしたらまず、事故報告書を
……郵送するだけです。



*補償内容は平成20年1月現在

印刷物のご請求・保険加入等に関するお問い合わせは各都道府県・指定都市老人クラブ連合会、市区町村老人クラブ連合会または下記、全老連 保険係までご連絡ください。

財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係
連絡料無料のフリーダイヤル 0120-000937
〈取扱代理店〉 有限会社 シニアサービス社
〈受幹事保険会社〉 東京海上日動火災保険株式会社

平成21年度 主な行事予定表

(平成21年2月現在)

月	日	事業名	月	日	事業名
4	17日(金)	市町村老連事務局担当者会議 (倉吉体育文化会館)	10	8日(木)	中部地区高齢者健康運動会 (倉吉体育文化会館)
5	12日(火)	監事会(県立福祉人材研修センター)		15日(木)	東部地区高齢者健康運動会(県民体育館)
	15日(金)	第1回理事会(ウェルシティ鳥取)		20日(火)	第2回若手委員会組織づくり検討会 (中部)
	25日(月)	第1回総会(セントパレス倉吉)		23日(金)	西部地区高齢者健康運動会 (米子産業体育館)
	27日(水)	第1回女性委員会(中部)	11	6日(金)	地区別研修会(米子市文化ホール)
6	3日(水)	第1回シルバー基金運営委員会(鳥取市)		18日(水)	地区別研修会(県民ふれあい会館)
	7日(日)	海岸クリーン作戦		25日(水)	地区別研修会(倉吉未来中心)
	10日(水)	企画委員会(県立福祉人材研修センター)		18~24日(火)	シニア県展(倉吉博物館)
	17日(水)	健康づくり支援事業第1回実行委員会 (県立福祉人材研修センター)	12	2日(水)	第2回シルバー基金運営委員会(鳥取市)
	18日(木)	女性リーダー研修会(西部)		8日(火)	第1回広報委員会(県立福祉人材研修センター)
	23日(火)	第1回若手委員会組織づくり検討会 (中部)		17日(木)	第2回理事会(鳥取市)
7	22日(水)	第2回女性委員会(中部)	1	20日(水)	第3回女性委員会(中部)
	未定	女性リーダー研修会(東・中部)		28日(木)	健康づくり支援事業第2回実行委員会 (鳥取市)
8	25~26日(水)	市町村老連リーダーセミナー (プランナールみささ)	2	4日(木)	第3回若手委員会組織づくり検討会 (中部)
	28日(金)	県民総合福祉大会 (米子コンベンションセンター)		17日(水)	第2回広報委員会(鳥取市)
9	9日(水)	健康づくり支援事業(指導者養成講習会)	3	12日(金)	第3回理事会(鳥取市)
	16日(水)	健康づくり支援事業(指導者養成講習会)		26日(金)	第2回総会(中部)
	25日(金)	健康づくり支援事業(指導者養成講習会) (倉吉体育文化会館)		未定	交通安全協力者研修会(東・中・西)

※なお、上記年間計画は変わる事があります。
 ※若手リーダー研修会(日程が決まり次第連絡予定)

国営備北丘陵公園 (広島県 庄原市)

グラウンド・ゴルフコース
 充実の天然芝コース!
 4コース32ホール・クラブハウス完備!
 団体様のご利用大歓迎です!

備北丘陵公園は広島県北部に位置し、グラウンド・ゴルフをはじめ、広大な園内では1日をゆったりとお過ごしいただけます。春秋には、チューリップ・コスモスなど、季節の花々が一面に咲き広がります。4月4日(土)からは「春まつり」も開催します。

開園時間 … 9:30~17:00 (季節により変動・毎週月曜休園日)
 入園料 … 400円(団体20名以上・280円) 駐車料 … 310円/日
 グラウンド・ゴルフコース使用料 … 100円(クラブのレンタルもあり)

アクセス: 中国自動車道・庄原ICより約5分(2km)
 お問い合わせ: 備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000

天然温泉・お風呂と大衆演劇の王国…

西脇健康ランド・ホテル

住所/兵庫県西脇市西田町189-1
 7ヶ所/中国道加西ICより約20分
 電話/0795-23-4224(第2火曜休)

- 1階大広間600名
- 有名劇団公演
入泉入場料(観劇)
大人2,100円
小人1,050円
- 2階個室宴会場
総会や食事可能
●ご宴会承ります
懐石プラン7,350円
弁当プラン5,250円
- 天然温泉
露天を含め13種類
- 宿泊86室264名
1泊2食付11,550円
- グランドゴルフ・観劇・観光バック
無料送迎(日帰り20名・宿泊15名以上)
旅費見積り・行程表など詳しい資料を
早急にお届け致します!お電話下さい

80歳以上の高齢者の外出

平成20年度鳥取県老連生活モニター活動

調査対象地域…公共交通が非常に不便な地域(全市町村で一八二人調査内)
二四人は会員外(平成十九年度は地域指定無し…全市町村で一三六人調査)

寄せられた声(一部紹介)

- ・80歳を過ぎると動きが悪くなる
- ・外の人との交流が元気の元
- ・バスの回数が減り通院にも不便
- ・一人での外出が不安になる
- ・友人が少なくなり淋しい
- ・高齢者の体に配慮を(話はゆっくり大きな声。会合は椅子席も)

モニター結果(一部紹介)

- 一週間の外出頻度が昨年調査より少ないのは、バスの減便も影響しているようです。
- 外出先は「病院」がトップ(49%)、「スーパー」「老人クラブ活動」と続き、外出手段は「徒歩」「家族や友人が運転する車」「バス」の順です。昨年より自転車の使用が減りバイクが増えています。「ほとんど外出しない」と答えた人の43%が「出かける用事がない」と答えています。

広報委員

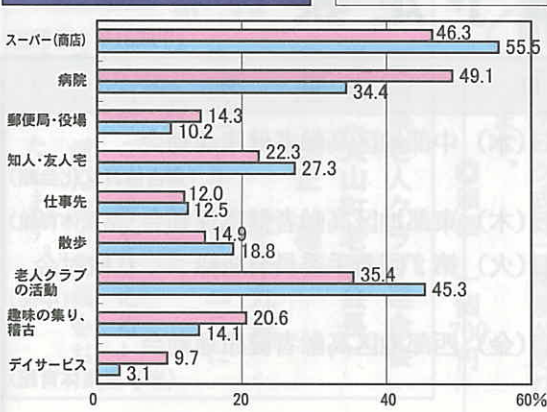
親愛なる五万数千の会員の皆様方の心に、県老連の活動成果と、今後の運動目標を、正確にお伝えする方策が七名の編集委員の間で熱く議論検討されました。原稿をお寄せいただいた方々と事務局、編集委員の気持ちが出会い、「一つ心」に溶け合っており、限られたページの中に多くの内容を盛り込むことが出来ました。この「県老連だより」がクラブ発展に、些かでもお役にたてば望外の喜びでございます。(今岡記)

編集後記

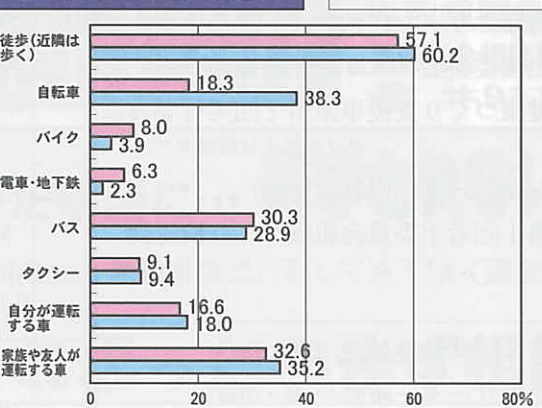
① 1週間の外出頻度



② 主な外出先(複数回答)



③ 外出手段(複数回答)



④ 日頃の外出で困ること(複数回答)



結果について話し合おう

みなさんの仲間の困っていることは何ですか。外出は元気の元です。調査報告書は各市町村老連へお届けしますので、モニター結果をもとに話し合い、外出機会をふやす取り組みにつなげましょう。

(鳥取県老連女性委員会)

発行 社団法人鳥取県老人クラブ連合会
〒689-0201 鳥取市伏野一七二九一五
鳥取県立福祉人材研修センター内
TEL0857-5916351
FAX0857-5916345

- 委員長 豊嶋 潤 (倉吉市)
- 副委員長 相見 寿子 (鳥取市)
- 委員 湯川 宏通 (若桜町)
- 委員 今岡 祐一 (米子市)
- 委員 川木 勢逸 (鳥取市)
- 委員 北野 昇 (琴浦町)
- 委員 後藤 敏彦 (日吉津村)
- 委員 長石 三恵 (西部地区代表)
- 鳥取県老連事務局長